

仙白園プロジェクト・人

通信No. 97



「仙白園プロジェクト・人」は、仙台白菜などを畑で育てる活動から発展して、様々な人たちと交流しながら、若者を中心に、社会・地域の一員として主体的に行動できる人づくりを目指しています。

今年度3回目の活動となりました。今回は「仙白園プロジェクト・若林区の魅力発見・課題発見ツアー」と題し、東六郷コミュニティ広場、震災遺構 仙台市立荒浜小学校、深沼海岸へ足を運びました。

東六郷コミュニティ広場では、「わたしのふるさとプロジェクト」代表の大内文春さんのお話を伺いました。震災前の東六郷について、震災時の東六郷について、震災から復興する東六郷についてなど、どの話も印象深く、胸に突き刺さる内容でした。そして、何よりも大内さんの郷土愛や生き方が素晴らしく、参加した若者からは、「大内さんとは何度もお会いしたことがあったが、初めて聞くことも多く、新たな発見ができた。」「地元愛にあふれている大内さんの話を伺い、元気をいただいた。」「今までよりもさらに強く、わたしのふるさとプロジェクトに関わっていきたい」などの感想が聞かれました。



大内さんの話：東六郷コミュニティ広場

午後からは、震災遺構 仙台市立荒浜小学校へ移動し、職員の高山さんから話を伺いました。震災前の荒浜や震災当時の話等を伺い、様々なことを考えさせられる機会となりました。昔、荒浜に住んでいた方々の思いを想像し、自分たちにできることは何か、改めて考えました。



高山さんの話：震災遺構 荒浜小学校

最後は、深沼海岸に行きました。海がとてもきれいで、思わずはしゃいでしまいました。たき火を囲みながら、今日の振り返りをしました。自分たちにできることは何か考えた結果、最後はみんなでゴミ拾いをしました。ほんの少しの時間でしたが、若者の力で、深沼の海岸の砂浜がきれいになりました。「またビーチクリーンしたいです！」という声が聞かれました。



ビーチクリーン：深沼海岸

市民センターでは、新型コロナウイルス感染防止対策を行って活動しています。